

Konko Osaka

光輝

第24号
金光大阪中学校・高等学校
同窓会

【編集発行】
金光大阪中学校・高等学校同窓会
〒569-0002
大阪府高槻市東上牧1丁目3番1号
TEL (072) 669-5211
FAX (072) 669-5214
URL <https://www.dosokai.jp/konko-osaka>
【印刷】
タツミ印刷株式会社

同窓会発足40周年に向けて ～金光大阪ゆかりのレジェンド大集合!?!～

令和5年9月16日11時文化祭に合
わせて総会（特棟3階3年9組教
室）を行います。40周年のスタッ
フをしてほしいという方は是非、
当日お集まりください。

スタッフ募集

これから詳細は決めていきますが、
恩師、友人との再会の場と考えて
いただけたらと思います。

内 容

母校体育館

令和6年12月1日

14時から15時30分

日 時

同窓会総会案内

今年の文化祭は、卒業生の入
場可とする方向です。
11時から総会も開催する予定
です。久しぶりの母校を訪れて
みてください。
お待ちしております。

目 次

◆ 同窓会総会案内……………1 P	◆ 女子テニス部……………6 P
◆ 会長挨拶・校長挨拶……………2 P	◆ 卒業生の皆様へ……………7 P
◆ ☆キラリ卒業生☆	◆ サッカー部……………8 P
◆ 金沢亮(高校23期)さん……………3 P	◆ インターハイ出場……………8 P
◆ 野球部	◆ 編集後記……………8 P
◆ 大阪大会優勝	
◆ 近畿大会準優勝……………4 P	
◆ 部活動今昔	
◆ 「ラグビー部」……………5 P	



「会長挨拶」

同窓会会長

なかじ ひふみ
中路 一二三

金光大阪中学校・高等学校同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

いつも、同窓会会員の活動へのご理解、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

私たちは同窓会発足40周年の行事を令和6年12月1日に母校の体育館をお借りして行うことを計画しております。

コロナ禍の中、全ての活動を自粛していましたが、今年の生活に戻りつつあると感じています。

同窓会としても40周年の行事を計画するにあたり、世の中の動向を見極め、あくまでも学校内で行われる行事であることを踏まえた上で気を許すことないよう話し合いを進めていければと考えております。

す。

私が同窓会と関わってきた経緯を思い出してみると、きっかけは初めて野球部が甲子園出場した時になります。応援に一人で参加しました。スタンドで数人の同級生や先輩、恩師に再会し、その時連絡先を交換したことで30周年のイベントに参加する事となり、その後、1期の同期会を高槻市にて幹事として行いました。

同期生20人程と恩師が5名の会となりましたが、言い表せない程の楽しい時間を過ごせたことを思い出します。

その後もSNSの普及も手伝ってか連絡を取り合いながら現在まで色々な形で同期会を行っています。

具体的には、恩師の自宅でバーベキュー、野球部の公式戦応援、忘年会、東京での飲み会、東京在住のメンバーの京都観光など気兼ねなく連絡を取り合い各個人でも楽しんでいるようです。恩師とも一社会人同士となり話せることで感謝の気持ちを伝えられたことが、本当によかったと思います。

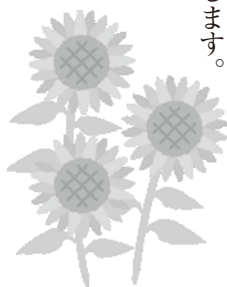
私たち一期生は、令和6年58歳になる年となります。恩師は70歳前後となります。

当時の事を思い出すと本当に大変な生徒だった私たちに對し全力で相對して頂いたことを恩師の方々から、聴かせてもらう事が出来ました。

在学中はなにも背負ってなかった友人たちは様々な人生を送り、乗り越えてきた生き様を話し合うことで自分の立ち位置を確認できたり思いがけず勇気をもらったりすることもあり。このような体験は毎日仕事や家事に明け暮れていたことから少し解放される気分になりますし、結果、第二の人生の新しいコミュニケーションの場になっていきます。

40周年イベントを実施することが決まってから当時のことがどんどん思い出され、58年間生きてきた中の3年間、この短い時間でどれだけ濃密な経験と出会いがあったのかと感じます。

是非とも40周年イベントには友達同士声を掛け合って、新しい再会、感謝を伝えるに参加してください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



「更に元氣な金光大阪」

金光大阪中学校・高等学校

校長 津本 佳哉
つもと よしや

同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育振興並びに同窓会活動にご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、校長職を拝命し1年が過ぎました。還暦を超え健康には気を付けるようになりました。

さて、この1年間、金光大阪では、サッカーワールドカップにおいては、高校30期生守田英正選手の活躍。書道部の9回目の全国優勝。年度末には高校39期生の進学実績の頑張り。今春、野球部の大阪大会優勝、近畿大会準優勝。サッカー部が14年ぶりに優勝し、8回目のインターハイ出場権を獲得。更に美術部が全国芸術文化祭に選出され、英語教育ではワールドスカライズカップバンコク大会出場と、今、追い風が吹いて

います。

そんな中、最近、卒業生と話す機会が増えました。昔話から近況報告、子育ての悩み、仕事のこと、結婚報告など実に楽しいひと時なのです。どの卒業生にも、大人として「現実の厳しさに悩む」面を垣間見る瞬間があります。皆さん一生懸命生きています。

先日、高校19期生の元中日ドラゴンズの吉見起さんが、「野球人生で学んだこと」の題で、金光教玉水教会で講演されました。金光大阪では「継続」と「思いやる心」を学び、プロの世界では何事にも、「ポジティブに考えれば、人生が楽しくなった」とのことです。プロという華やかな世界でも「思い悩む」日々の連続だったそうです。

本校も今春3月で、卒業生が15272人になりました。紆余曲折を繰り返しながら、吉見さんの言われるように、皆さんと共に「楽しく」過ごせばと思います。そのためにも、現役生の頑張りや卒業生を、卒業生の頑張りや現役生を元気づけるのは言うまでもありません。

今年の文化祭は、おそらく卒業生の入場制限がなくなる可能性があります。是非、ご来校いただき、笑い話から元気をいただいてください。我々教職員もその日を楽しみに頑張っていく所存です。

キラリ

卒業生

金光大阪高等学校からジェフユナイテッド市原・千葉に入団してプロの世界に入った金沢亮先生(高校23期)から話を伺いました。現在は母校の体育科教師をしながらサッカー部のコーチをされています。

(聞き手 丹羽)



—学生時代の思い出は?—

元々小学校の頃は、狭い地域のチームで遊びの延長としてサッカーをやっていました。中学でプロの下部組織である京都サンガのジュニア・ユースチームにいました。しかし、ギャップを感じてしまつて一度サッカーから離れた時期もありました。中学3年生の終わりに覚悟を決めて京都を離れて大阪の金光大阪に入りました。高校に入ってから、挫折することもありました。思い通りいかないこともたくさんありました。中学校の時の逃げてしまつた自分を変えたくて来ました。高校では逃げずにできたことが自信を持つて言えることです。

—金光を選んだキッカケは?—
中学2年生の時に、読売テ

レビで大阪の選手権大会決勝をやつていて、それをたまたま見て金光を知り、声をかけてもらったんです。

—高校時代の戦績は?—

高校「二年生はプリンスリーグに少し試合に出してもらいました。三年生の時に大阪インターハイに出場してベスト16迄進みました。

—岩松先生の指導で印象に残っていることは?—

岩松先生は、生徒と一定の距離を置かれていて、そんなにたくさん声をかけてもらつたことはないですが、僕からするとその距離感が良かったと思います。

性格的に、色んなことを言われるのは嫌なタイプで、自分で考えてやることにやり甲斐を感じるタイプでした。見守ってもらえたのかと思います。

—サッカー以外の思い出は?—

クラスがスポーツクラスで、特に野球部とのクラスメイトとの関係性です。野球の方が定期的に早く大会が終わるんです。野球部の子が夏の大会の時についていたお守りを、サッカー部が譲り受けて、それをつけて戦いました。お互い、良い意味で切磋琢磨していました。

—2007年からジェフユナイテッド市原・千葉で5年間プロ生活をされました。プロで印象に残っていることは?—

高校3年生の時に初めて練習に参加しましたが、その時の監督が日本代表の監督の後



にされたオシムさんでした。僕を選手として合格を出してくれたのがオシムさんでした。

た時には、日本代表に行つたので長く指導を受けたわけではないですが、高校の時に練習に参加した時の出会いが一番印象に残っています。

オシムさんがチームに植え付けたと思いますが、練習で手を抜く人が一人もいない。一人一人手を抜かないことを当たり前前に徹底されていたので当時のジェフは強いチームだったのかなと思います。入団前にオシムさんに「良い選手だ」と言ってもらえたのは凄く自信になりました。

—プロ生活で印象に残っていることは?—

レベルが高くて二年目はついていくのがやつとで、練習に行く前に戻すくらいストレスで大変でした。その時に同じチームの先輩で水本さんという当時日本代表に選ばれていた選手がいました。練習後、一緒にランニングをしている時に「練習が嫌です。サッカーが何でこんなに難しく感じるのかわかりません」と言うと、「サッカーが難しいのは当たり前や。だから毎日練習メニューをノートに取って練習のふり返しをして、頭の中を練習以外の時間で整理し

ている」と聞いて能力の高い選手なので、そんなことをしていいなと思っていました。こんな選手でもそれくらいやつていけるのには自分は何もしていないのに「しんどい」とか「ついていけない」と思っているのは、このままではいけないと思ひ影響を受けました。

—プロ生活の中で大切にしていたことは?—

一番は、サッカーを楽しむことです。大きいプレッシャーがかつたり、自分のプレーが上手いかなと、プロとして生活もできないこともある。原点として小学校の時から「楽しいからずっとやってきた」。大きいプレッシャーがあつても、楽しむ心の余裕を持つのを大事にしてきました。

—生徒たちがインターハイ予選、大阪大会で優勝しました。感想は?—

今回の大会は生徒が大会を通して目に見えて成長していくのがわかつた。例えば、コーチなどでウォーミングアップを担当することがあるんです。準決勝の前には相手の履正社が隣でアップしていたんです。選手表情や顔つきを見てみると相手に目線が全然いらない。自分たちが集中して試合に入るかだけを考えている。そこに焦点を当ててアップしていた。その場の空気に流されずに、自分をコントロールできている姿を見た時に凄く成長していると感じました。

—プレーヤーの自分とコーチの自分で気持ちの変化は?—

選手の時とは自分のことだけを考えていれば良かったけど、今は全く逆で相手のことや自分のこと以外を考えることが増えています。選手から指導者になつてすぐは、自分の目線で選手を見てしまつたり上手くいかないと感じた。今は、自然と相手の視点で見ようという意識は強くなりました。

—コーチ金沢亮から高校時代の金沢亮を見たら?—

ヤンチャ坊主です(笑)。僕は優等生ではなくてヤンチャでした。当時の高校生の僕なりに色々考えたりしていた。只、僕は学校が好きだったんです。友達に会つたり、人と関わるのが大好きでした。大人との関りも好きでした。だから、今、学校の先生をしているのかなと思います。



部活動 今昔

今回は、ラグビー部と女子テニス部取材しました

ラグビー部
今
ラグビー部顧問
平井祥弘先生

ラグビー部は現在、高校2年生2名、高校1年生1名の総勢3名という少人数で活動しています。私が金光大阪高等学校（当時は金光第二高等学校）に赴任した当時は各学年15名前後、総勢40名以上の部員がいました。今はきつくて痛いスポーツをわざわざ選択する生徒が減り減りました。2015年のラグビーW杯イングランド大会で日本代表が世界の強豪南アフリカに勝利したときは、1984年に放映されたスクールウォーズ以来のラグビーブームが来ると思っていました。部員数は増えず、さらに2019年ラグビーW杯日本大会での日本代表の活躍もあり盛り上がったラグビー熱も今はすっかり冷め



てしまい、高校ラグビー自体のピンチでもあります。しかし、初代顧問の織先生、二代目顧問の石田先生、三代目顧問の辻先生方へと繋いでくださったラグビー部の歴史を消さないように頑張りたいと思います。

ラグビー部は毎年1月4日に初練習を行っています。現役の生徒たちとたくさんOB・OG、その保護者やラグビーで知り合った皆さんの仲間たちと、一緒にプレーし楽しんでます。OB・OGの中には子供を連れてきて挨拶をしてくれたり、一緒にプレーのできる子供達も居てとても賑やかで楽しんでいます。これを見た方は是非、一緒にやってみてみたい方は1月4日お待ちしております。

ラグビー部
昔
高校10期生
古口哲一朗氏

高校10期生の古口哲朗と申します。高校の思い出は、ラグビー部での活動を中心にした学生生活を送っていました。私が所属していた頃は、ラグビー人口が多く、各学年15人前後のメンバーで練習をしていました。現在は、人口の減少とともにラグビー人口も低下しており、なかなか、他校と合同でチームを編成しても15人を集めるのが大変な状況です。この機会に、ラグビーの魅力と、環境があれば是非ラグビーをしたと思うようになって頂ければ幸いです。

ラグビーというスポーツは、体をぶつける、きついイメージのあるスポーツですが、実際は、相手を抜きトライを取る手段だったり、阻止する方法の一つです。その他、トライを取る方法には、ステップ、キック、パスをして相手を抜いたり、また、トライを阻止するために、ライン際に追い込んで外に出す、ミスさせるなどいろいろな方法があります。体をぶつけることがOKなので、怖さは他の競技よりありますが、年々安全を重視しルール改正が行われ

ています。

48歳になる私ですが、40歳になった頃、5、6年上の先輩方が中心となり金光のOBチームを作ってくれました。月に1、2回練習をしています。また、タッチフットという、タックルの代わりにタッチするルールで練習しており、小学生の子供も混ざって楽しくやっています。

今年は9月にフランスワールドカップがあります。2大会前（8年前）のワールドカップでは、前回優勝した南アフリカに勝ったことが何度も放送され、その後10人以上入部がありました。体が大きい、足が速いという取り柄は、どのスポーツにも有利ですが、それだけでなく、色々な技術を身に付け、状況に応じたプレーで点を取り合います。また、ミスや反則が多く、失敗が当たり前のスポーツ。そのため、子供でも楽しめるのがいいですね。ラグビーをできる環境は限られています。

もし、そういう環境があれば、一度試してみてください。40からはじめる方も大歓迎です。高校のグラウンドで毎年、年始の1月4日、9時に集合し10時開始でOB戦を開催して頂いております。OBの方もそれ以外の方も是非参加して下さい。多くのお子さんも来られ、



お子さんと一緒に参加も大歓迎です。

顧問の先生方、先輩、後輩の皆様のおかげで、ラグビー部が継続でき、また、この年になっても高校の関係者の方にお世話になり、楽しい毎日を送っております。本当にありがとうございます。まだまだ、迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

女子テニス部 今

女子テニス部顧問
佐藤良一先生
さとうりょういち

今年度の女子テニス部は15名所属しており、3年生が引退後の現在は1・2年生10名で活動しています。

昨年度は基礎練習を中心に練習を積み重ねてきました。試合で勝てば喜び、敗れば悔しがり次に向けての練習に励む。部員は向上心が高く、何よりもテニスをプレーすることを楽しんでいました。夏にはコロナ禍で数年実施できなかった合宿を実施し、秋には大阪市で開催された世界スーパージュニアテニス選手権の決勝戦（男子シングルス・女子シングルス）を部員全員で観戦に行きました。世界で活躍している同世代のプレーを間近で見るにより、今後の練習に向けての良い刺激になりました。また、さらなるレベルアップのため、YONEXの神谷勝則コーチと茶園鉄也プロをお招きして、冬期特別講習会を実施しました。その結果、試合では数名が本戦に出場し、高槻市高等学校テニス大会（団体戦）では3位に入賞するまでに成長してくれました。

今年度は、より試合を意識した練習に取り組み、前回より

も良い結果を目指して日々の活動に励んでいきたいです。



女子テニス部 昔

中学27期生
高校36期生
小泉美晴氏
こいずみはる

初めまして、金光大阪中学27期、高校34期生の小泉美晴と申します。中学から高校まで、金光大阪のテニス部に所属しておりました。

当時、中学女子テニス部は1・3年生までの合計6人で部員が少なかった為、高校生と合同で練習していました。中学生の私にとって、高校生は大人でキラキラして、テニスの技術が段違いでした。そこで、私は初めて「憧れ」の感情を知りました。〇〇先輩のようなプレーがしたい、〇〇先輩のようにストイックに努力できる人になりたい。この「憧れ」の感情で、テニスノートの日々の感想や目標の記録や積極的に先輩からアドバイスを頂きました。そして、秋季北大阪中学校大会のダブルスで3位を受賞することができました。

高校進学後もテニス部に所属していましたが、高校1年の秋に怪我をしてしまいました。テニスが出来なくなり、部活動を一度退部しました。大好きなテニスが出来ないことが悔しかったです。しかし

「良い結果を生み出す為には、今できることは何かを考え、努力すること」という言葉を頂き、新しく熱中するものを見つけようと決心しました。そして、勉強に励むことを決意し、ほとんど毎日自習室で勉強をするようになりました。そして、怪我が治り、高校2年生の6月頃から部活動に復帰しました。しかし、テニスを半年間していなかったため、スランプに陥りました。しかし、同級生・先輩の支えや顧問の先生のおかげで、徐々に自分のプレーを取り戻すことが出来ました。そして、引退直前にシングルスで本戦出場することが出来ました。また、部活動の復帰後も勉学に励んでいた為、第1志望の大学にギリギリ合格することが出来ました。この経験で「常に努力と挑戦すること」の大切さを学びました。

現在も大学でテニスを続けています。

テニス自体も楽しいですが、何よりそこで出会った仲間やサークルの幹部の経験を通して、

新たな知見を得ました。何か夢中になるものを見つけることや、そこでの出会いや経験はかけがえのないものです。是非皆さまも一生懸命になれるものや大好きなものを見つけて下さい。そして「努力と挑戦」をすることで、大切な青春時代を謳歌してください。



※下列右から2番目



※右



祝!春季大阪大会優勝 近畿大会準優勝

野球部

高校野球春季大阪大会で金光大阪高等学校が初優勝しました。決勝は府内公式戦56連勝中の強豪、大阪桐蔭高校を破りました。勢いに乗った金光大阪は近畿大会でも躍動して準優勝を果たしました。夏の大会に向けて勢いのつく結果になりました。ご声援ありがとうございました。



卒業生の皆様へ

入試広報部長 森田 充彦



同窓会の皆様におかれましては、日々各方面で活躍のこ

ととお慶び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動にお力添えを頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症となり、個人の選択を尊重し、自主的な取り組みをベースにした対応に変更されましたが、まだまだ感染対策に配慮をされながら日々の生活を送られていることと拝察いたします。

そのような中でもこの同窓会ニュースをご覧になると、御自身の人生で最も多感な、しかも青春のひとときを過ごされた母校のことを思い出されるのではないのでしょうか。

今年も本校の生徒諸君は、各クラブ活動をはじめ大学等への進学においても、着実に成果を上げています。これも同窓会の皆様方が長年にわたって築かれてきた伝統が脈々と受け継がれている結果だと確信いたしております。

さて、私たち入試広報部は、本校生徒の活躍を中学校や塾、様々な進学説明会等、あらゆる場面で広報活動を行っております。

そのような中で、先生方から「何時行つても、生徒さんたちが気持ちよく挨拶してください。」とお褒めの言葉をいただきます。

大きくことが何度もあります。これも皆様方が築いてこられた良き伝統のつだいだと思います。

また、「金光大阪に子どもさんが通っている保護者の方から面倒見のいい学校だと聞いています。」や「私も金光の卒業生で子どもをぜひ通わせたいと思っています。」というような事をよく聞かせて頂きます。

これらの言葉からも、卒業生の皆様や保護者の皆様からの暖かい後押しを感じております。

同窓会の皆様は、今後とも益々の応援とご協力をいただきたく、令和6年度入試に向けたチラシを同封させていただきましたので、お知り合いの方々に声を掛けていただければ幸いです。

併せて、本校の特別優待制度につきましても掲載させて頂きます。

特に卒業された皆様のお子様が入学の際には減免制度がございますので併せてお知らせいたします。

(詳しくは、入試広報部までお問い合わせください。)

今後の入試関係の行事

◎金光大阪高等学校

・オープンスクール

8月19日(土) 9時30分～
10月14日(土) 14時～

・学校説明会

11月4日(土) 13時～
11月18日(土) 13時～
12月9日(土) 13時～
12月16日(土) 13時～

◎金光大阪中学校

・学校説明会

7月9日(日) 9時30分～
8月26日(土) 9時30分～

金光大阪高等学校 学習特待生制度について

種類	内 容	学習特待基準	
		専 願	併 願
学習A特待	入学金全額(20万円)免除 +年間50万円を3年間支給	内申44以上または入試で390点以上取れると見込まれるもの	内申45または入試で420点以上取れると見込まれるもの
学習B特待	入学金全額(20万円)免除 +年間25万円を3年間支給	内申40以上または入試で350点以上取れると見込まれるもの	内申43以上または入試で380点以上取れると見込まれるもの
学習C特待	入学金全額(20万円)免除	内申36以上または入試で300点以上取れると見込まれるもの	内申40以上または入試で350点以上取れると見込まれるもの
学習D特待	入学金半額(10万円)免除	内申33以上または入試で250点以上取れると見込まれるもの	内申36以上または入試で300点以上取れると見込まれるもの

9月23日(土祝) 9時30分～	11月3日(金祝) 9時30分～	11月26日(日) 9時30分～	11月26日(日) 9時30分～	9月23日(土祝) 9時30分～	11月3日(金祝) 9時30分～	11月26日(日) 9時30分～	11月26日(日) 9時30分～
プレテスト	プレテスト	プレテスト	プレテスト	プレテスト	プレテスト	プレテスト	プレテスト

令和5年度 同窓会会計予算(案)

	摘 要	令和5年度予算(案)
収入の部	令和4年度より 繰越金	15,487,315
	34期生 終身会費(中学)	36,000
	40期生 終身会費(高校)	1,820,000
	預金利子	100
	収入合計	1,856,100
	繰越金・収入総合計	17,343,415
支出の部	会誌印刷・郵送代	2,500,000
	同窓会HP管理・維持費	500,000
	同窓会総会・会議費	500,000
	会報等取材費	300,000
	事務費	500,000
	弔慰金	50,000
	雑費・予備費	12,993,415
	合 計	17,343,415

令和4年度 同窓会会計決算報告

	摘 要	令和4年度決算
収入の部	令和3年度より 繰越金	15,542,598
	33期生 終身会費(中学)	20,000
	39期生 終身会費(高校)	1,385,000
	利 子	15
	合 計	16,947,613
支出の部	会報「光輝」印刷代	454,436
	会報宛名台紙印刷・封筒・封入・発送代	913,982
	同窓会総会・会議費	36,880
	同窓会HPメンテナンス・維持費	55,880
	合 計	1,460,298
	R5年度へ 繰越金	15,487,315
	定期預金残高	4,886,699

会計 小澤 直美

会計 濱田 幸美

令和4年度決算は、以上の通り相違ありません。

会計監査 阿知波 善之

祝！インターハイ出場

サッカー部



大阪高校春季サッカー大会兼全国高等学校総合体育大会大阪予選において金光大阪高等学校が優勝を果たしインターハイ出場を決めました。全国の舞台でも金光旋風を巻き起こしてくれることを期待しています。ご声援宜しくお願い致します。

編集後記

今年の五月に新型コロナウイルス感染症が、いわゆる二類から五類へ引き下げとなり、普段の生活ではコロナ自体がインフルエンザ並みの扱いになってきています。

しかし、感染者が徐々に増え「第九波」の到来も専門家から言われております。

そんな中にあつても、野球部は春季大阪大会初優勝、その後の近畿大会準優勝、今年の夏季大阪大会もよい結果が期待できます。

サッカー部は七月に北海道旭川市で開催されるインターハイ出場を決め、素晴らしいことです。

また、来年には同窓会四十周年を迎え、記念行事の諸準備も進められております。

三十周年の時のようなことはできないかも知れませんが、記念行事が何事もなく平穩無事に開催できますよう、願ってやみません。

(大宅)

